



## 感謝する心を持つために

校長 富士 健一

### 「無難（ぶなん）な毎日でいいんですか？」

先日、地区の会合で少し年下の後輩に近況を話していた際、「校長になってどうですか？」と質問されたので「責任が重い立場やし、無難（ぶなん）に一日が過ぎるとホッとするんや。」と答えるや否や彼から指摘された一言。「無難を望む柄でも年齢でもないでしょ。難無く過ぎる毎日に意味や価値があるんですか。」と続けた彼から、さらに質問。「難が無い<無難>は<ぶなん>



と読みますが、難が有る<有難>はどう読みますか？」すぐに「<ゆうなん>…、そんな言葉無いよな。」と答えて考え込んだ私を見ながら彼曰く、「校長なら、無難（ぶなん）な毎日より、有難（ありがた）い毎日の方がいいでしょ。」目から鱗、ハッとしました。「自分には学歴や社会的地位はないけど、どんな困難が生じて、無難にやり過ごそうと守りに入ったり、ごまかしたり逃げたりせずに、乗り越えるチャンスを頂いていることに感謝して毎日を過ごしていることだけは誇れます。学校の先生には、子供たちがどんな毎日にも感謝する心を持てるように育ててほしいと自分は思います。」哲学的な話が好きで物事に熱くめり込むという共通側面を持っていることで気の合う彼が、私の目の前で語る言葉の重みと、常に損得抜きに筋を通す態度の清々しさが、「どんな毎日にも感謝する心」を身につけているからこそ出てくるものだと気づかされ、感心を超えて感動しました。「教育のプロである自分、学校のトップリーダーを務める自分が、困難をマイナスに捉えるばかりで感謝の心を置き忘れ、無難を求めることを恥だと思わなければいけないな。」そう戒められた一コマでした。

人生において歩みたい道を塞ぐ難所として生じる様々な困難。言われも無いことで人から非難されたり、多難が続いたりするような理不尽なことも時として起こります。そんな時、目の前に有る困難と真っ直ぐに向き合い、自らの力で克服しようとあきらめずに努力し続け、挫折しそうになっても負けない心を持って立ち上がれる人は、「どんな毎日にも感謝する心」を持つ人だと言い換えられるのかも知れません。困難と対峙する中で会う人とのつながりの大切さや助けてくれる人の必要性、教え導いてくれる人への尊敬、そんな素敵な機会へと誘ってくれる「有難」こそ「ありがたい」ものだと心に留め、「どんな毎日にも感謝する心」を持って口名田小をリードする存在で有りたいと強く思います。

さて、1学期も残すところ18日。新たなスタートを切ってから1年のうちの約4分の1の時間が経過し、今日からは教育相談週間もスタートしています。子供たちは、学校で、地域で、家庭で、できるようになるために、わかるようになるために、毎日一生懸命がんばっていることと思います。しかし、時間の経過とともに、程度の差や感じ方の差こそあれ、難しいことや苦しいことなど、様々な困難が子供たち一人一人に降りかかってきて、最初はがんばっていたのに、段々とがんばりきれなくなってしまうことやあきらめそうになることが少しずつ出てきているかもしれません。子供たちにとって、困難がある状態を「ありがたいな」とはなかなか思えるものではありません。けれど、困難に苦しみ時、話を聞いてくれる、教えてくれる、気づかせてくれる、助けてくれる、応援してくれる等、そばで支えてくれる人の存在によって、「ありがたいな」という心からの感謝を実感するに違いありません。

自分の力で解決できないことや、がんばってもなかなか成果が現れないこと、他者との関係や勉強での悩みごと等、心に抱えた子供たちの言葉にならない「こえ」を聞き取って受け止め、心を軽くして力を湧き出させるよう、教員と保護者の皆様とが手を携えながら、丁寧に見守っていきましょう。

＜教職員の声＞ 7月 は 清水 順子（しみず じゅんこ）先生のコーナーです。

【本を好きになろう】（→R5 図書委員会スローガンです！）

図書委員には読書好きが多いと思いますが、本校児童は、みんな本を読むことが好きだと感じます。朝読書の時間は静かに本を読み、読み聞かせの時には真剣に聞いています。図書室に本を借りに来る子どもも多く、「次は何を読もうかな。」と探している表情はとても楽しそうです。読書によって、新しい世界が広がったり、知らなかった事を知ったりすることがあります。だから、みなさんにはどんどん読書をして、本の世界に浸ってほしいと思います。

私が小学生の時に好きだった本は、「だれもしらない小さな国」（作：佐藤さとる、絵：村上勉、講談社）です。一人の少年が、コロボックルという小さな人と知り合って仲良くなり、人として心豊かに成長していく物語です。おもしろいのは、協力してその小さな国をおとな達の開発から守るときの作戦です。この本は、お話しもおもしろかったのですが、挿絵の細かい線画に心引かれた本でした。続編も読みました。

おとなになってから好きだったのは、「ともだちや」（作：内田麟太郎、絵：降矢奈南、偕成社）です。友だちのふりをして商売をするキツネが、本当の友だちを見つけます。キツネとオオカミの交流を読みながら、本当の友だちはお金では買えない大事な人だと感じる本です。トランプで勝っても負けても楽しくて、笑ったり泣いたりしながら、また遊びたくなるところがおもしろいと思います。挿絵の登場人物の表情から気持ち分かるすてきな絵本です。私の子どもが小さいときに毎晩のように読みました。シリーズも楽しい本です。

□名田小学校に来てからは、たくさん本を選んでみなさんに届けました。例えば、「失敗図鑑」（著：大野正人、文響社）。人生に失敗はつきものですが、ある日の気付きによって、失敗に負けずに成長し、すごいことができるのです。みなさんが大きくなる時に大事なことは、何なのでしょう。考えながら読んでみてください。

さて、だれにでも好きな本があるでしょう。この夏休みには、「読書感想文」を書いてみませんか。「①自分が気になる、または好きな分野の本を選ぶ。②はじめにこの本を選んだ理由、次に本の内容、それから読んで「すごいな。」「自分ならこうする。」と思ったこと、最後に「これから自分はこうしたい。」と思ったことを書く。③読み直して、清書する。」ね、できそうでしょうか？ 若狭図書学習センターで読書感想文を書く講座が開かれるので、ちょっと困った人は、参加してみるのもよいでしょう。また、何の本を読んだら良いか迷った人は、課題図書が図書室にあるので、読んでみてはいかがでしょうか。しかし、作文するときに今流行の人工知能「ChatGPT」などに頼ってはいけません。自分で書くことが大事なのです。電子書籍より紙書籍の方が読んだ内容が頭に残ると言う人もいます。本を手にとって読んでみましょう。時代は変わっても、自分の好きな本を見つけるのは楽しいものです。



＜わたしのこえ＞ ～6月号返信より～

- ・右の意味を教えてくださいと聞かれたら、私は左の反対ですと言うけど、校長先生は国語辞典で調べてすごいと思いました。
- ・ノーマディアウィークなのでたくさん本を読んでいると、まだならっていないかん字まで読めるようになってきました。かん字が読めるようになってきておもしろくなってきました。
- ・算数のじゅぎょうでまちがっていてもみんなに「だいじょうぶがんばって」と言われて、心があたたかくなりました。
- ・4年生になって3年生より仲がとても良くなりました。みんな同じことをやっているけど一人わからないときに友達が教えてくれているところが、とても心があたたかくなりました。
- ・きのう、家のお手伝いでお風呂そうじをしたら、家族からほめられたので、またやりたいなと思いました。
- ・最近、低学年に何かしてあげると「ありがとう」と言ってくれるので、心があたたかくなります。
- ・高学年になると、プールそうじや体力テストなどいろいろむずかしいことがあるけど、がんばっていこうと思います。
- ・みんな努力しているんだなと思いました。わたしはもっと努力して、やりたいことをやれるようになりたいです。
- ・ほくも、やることで失敗が成功になるんだと思いました。
- ・ほくもしょうらい思いやりのある人間になりたいです。あと、自分の意見を持つのもやっぱり大事だと思いました。
- ・初めての犬黒山登山。疲れたけど頑張ったかいはありました。

－7～8月の行事予定－

- 【7月】3日(月)、4日(火) PTA登校指導  
教育相談週間(7/3～7/7)  
タイピングコンテスト(6/26～各学年)
- 6日(木) SC訪問日
- 7日(金) 川遊び安全教室(予備日14日)
- 10日(月) 学期末算数テスト(1限)
- 11日(火) 学期末漢字テスト(1限)
- 14日(金) 読み聞かせ(高学年)
- 18日(火) 学校集金日、給食なし10:35全員下校  
第1学期末教育懇談会
- 19日(水) 給食終了、大掃除、15:00 全員下校
- 20日(木) 第1学期終業式、地区別子供会  
給食なし11:25 全員下校、下校指導
- 21日(金) 夏季休業(～8/29)
- 【8月】1日(火) 5年生登校日 9:00～11:00
- 3(木)、4日(金) 自然教室(5年生)
- 11日(金)～18日(金) 学校閉庁日
- 15日(火) 学校集金日
- 27日(日) PTA奉仕作業
- 30日(水) 第2学期始業式、給食なし11:30 全員下校
- 31日(木) 給食開始 / 下校指導



※今年度も夏季休業中のプール開放はありません。  
↓高学年は必ず書いておうちの方に見せ、提出しましょう。

.....きりとせん.....

＜わたしのこえ＞ 7月 ※ころがあたたかくなったこと、がんばったこと、やってみたいことなど、ぜひしょうかいしてね。

ねん

なまえ：

---



---



---

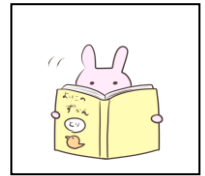
## 〈保護者の声〉

～6月号返信より～



◇子供への深い愛情が感じられる皆様の〈声〉から、今回は、「意見交換できる学校だより」に共感し、期待する言葉を頂きました。  
◇この学校だよりは、前任校小浜二中で学校だより「多田ヶ嶺」の編集・発行を担当していた私が、構成意図と発信効果の素晴らしさを学び、校長になった学校で、ぜひ真似たいと思って始めたものです。  
◇この月1回の紙面を通した双方向性ある「主体的・対話的学び」の場が、同校区の小中学校で同時存在することにより、9年間を通した小中一貫での「深い学び」へとつながるといいなと願っています。

### 【 低学年（1～3年） 】



\*このような意見交換できる学校だよりが素晴らしいと思います。

\*4、5月のおたよりを拝見して、子供の些細な言葉を校長先生が真剣に聞いて、思いを理解してくれようと寄り添って下さるのが伝わりました！先生の「探

究」する力、親も大切に子供と過ごしたいです。他の子供たちや親御さんの話も知れて、“教職員の声”も見れて、毎月のおたよりが楽しみです。〇名田への親しみが深まります。

\*言葉っておもしろいですね。先日、ケガが続いた我が子に「踏んだり蹴ったりやなあ…」と言うと、「それって、踏まれたり蹴られたりじゃないの？」と返されてしまいました。確かに…。また、「人一倍って、一人より多いのに一倍なん？」と聞かれたこともあります…。目の付け所がおもしろく、感心するのですが、答えることが出来ません…笑

■「人一倍」…【その人の熱心さやなまけぶりなどが普通の人の二倍であること（新明解国語辞典）  
実は、2020.6.5放送のNHK番組「千コちゃんに叱られる」で「人一倍が二倍でないのはなぜ？」という話題が取り上げられました。千コちゃんの解説によると、明治時代初期までの日本では「一倍」という言葉が×2（2倍）の意味で使われ、別にあった言葉「一層倍」が×1（1倍）の意味で使われていました。ところが、明治維新により西洋文化が日本に流入し、「二倍」が×2（二倍）の意味で使われるようになり変化。明治8年以降は「一倍」という表記が禁止されましたが、「人一倍」という言葉はそのまま×2（二倍）の意味で使われ続けて今に至るそうです。

\*タブレットの宿題が増え、キーボードを上手に打てるようになったように思います。

\*楽しみにしていた大黒山登山も無事に終わり、疲れたと言っていたけど楽しめたようでホッとしました。前日に、経験者の兄にアドバイスをもらっている姿を見て、二人とも〇名田で本当にいろんな経験をさせて頂いているなと改めて感じました。これから、いろんな課題にチャレンジして大きくなってほしいなと思います。お世話になりありがとうございました。

\*皆さんの「わたしのこえ」を見て、自分も目標（「入学してから本を100冊読みたいです。」）を立てたようです。（ある1年生の「わたしのこえ」に添えられた保護者コメント）

■**学級の友達やお兄さんお姉さんの言葉に刺激されてがんばろうとする子供の姿勢、とても立派ですし、そういった姿を即座に認め、お伝え下さる保護者の方の姿勢が、とても素敵です。**

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・きりとりせん・・・・・・・・・・・・・・・・

〈保護者の声〉 7月 ※感想やご意見、ご要望など、ぜひお書きの上、ご提出ください。（一部紹介させていただきます。）

年 保護者氏名：

---

---

---

## 【 高学年（４～６年） 】

\*「わかるようになるために」は、とても興味深いお話でしたし、木崎先生の「私と口名田地区」のお話は、情景が浮かんで来て、心があたたかくなりました。

\*“わかっているつもり”実はたくさんあると思います。大人になると「わからない」と正直になりにくくなりますが、私も子供と共に探究してみたいと思います。「辞書」、見てみるとおもしろいですよね（^▽^）

\*なるほどと思いました。同じ「右について」でも、いろいろな表現方法があるのですね。最近、ものを調べると言えばスマホになってしましますが、辞書ならではのわかる事もあるのだな、と感じました。

\*私も子供に聞かれ辞書を引くことはありますが、様々な辞書を引き、比較することはしたことがなかったです。様々な表現があり、おもしろいですね。探究することは難しいことだと思いますが、わからないことは調べるということから始め、探究することへつなげてほしいと思います。

\*勉強嫌いな息子（笑）。先日の公開授業で算数の授業を参観しましたが、苦手科目でもある算数でしたが、とても楽しそうに授業を受けているので、帰ってから毎日の授業の感想を聞くと「楽しい〜！」と。担任の先生には感謝しかないです。

\*タイピングがものすごく速くなりびっくりしています。子供たちがニコニコしながら取り組んでいるので、何事も楽しくないと成長しないんだと改めて感じさせられます。

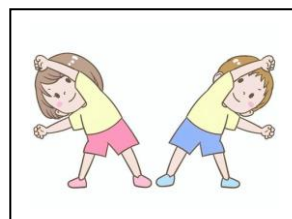
\*学校での話を聞いていると、学年関係なく仲の良い様子が伝わってきて、こちら嬉しい気持ちになります。

\*５年生になり、少し高学年意識が出てきたように思われます。自主性を引き出すのに親も知恵がいります。

\*何事も失敗を恐れず、仲間を信じ、自分を信じて努力して、一生懸命な５年生を期待しています（^\_^）

\*泣きながら登校していた頃を懐かしく感じます。心も体も大きくなりました。

\*毎朝、子供たちが登校する姿を見てきました。しっかりあいさつ出来る時があれば、今日は元気がないと感じたり、天候が悪い日でも歩いて学校へ向う姿を見ていると色々な感情が湧いてきたりします。もうしばらくの間、見守らせて下さいね。



**「我が子であろうとなかろうと、地域の宝として温かい眼差しで見守りながら成長を後押しして下さっていること、私たち教職員も見習わなければならない姿勢だと感じています。」**

\*コロナ禍で出来なかった行事が出来て良かったです。山登りは、なかなか経験出来ないのので、サポートして下さった皆様に感謝です。

\*コロナが５類になり、今まで出来なかった行事や地域との交流が増えるとうれしいです。

\*コロナ禍で、いろんなことをたくさん我慢してきた子供たち。修学旅行で行くであろうUSJの時間を長くしてあげてほしいな！と思います。

**「貴重な学びの機会としての側面」と「仲間達との素敵な思い出づくりとしての側面」の両面をしっかりと考えながら、「コロナウイルス等感染防止」の観点もしっかりと踏まえた上で、子供たちにとって楽しく充実した満足のいく最高の行事になるように計画していきます。」**